



ムシ歯の大きさにより
治療方法が異なります

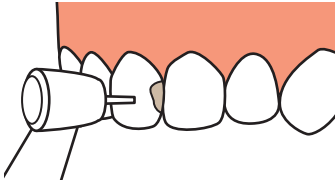
ムシ歯治療の流れ

ムシ歯が小さいとき

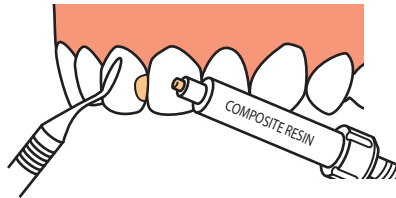
前歯や奥歯の小さいムシ歯 (C1、C2) には詰め物 (レジン充填) を行います

利点 歯の色と同じ

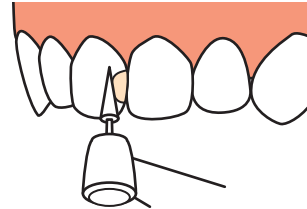
欠点 あまり頑丈ではないので噛んだときにかけることあり



ムシ歯になっている
部分を削ります



歯の色と同じレジン
(プラスチック) を詰めます



形を整え、治療は完了です

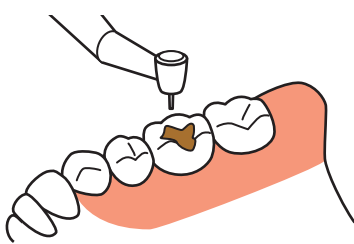
case
1

ムシ歯が大きいとき

奥歯のムシ歯 (C1、C2) の場合には詰め物 (インレー) を作ります

利点 頑丈です

欠点 銀色なので見た目があまり良くない



ムシ歯になっている
部分を削ります



型をとります



詰め物を接着剤でくっつけ
治療は完了です

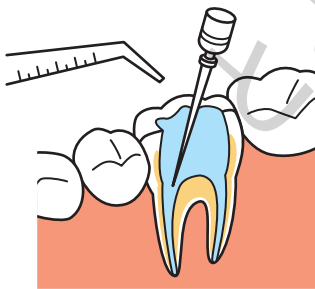
case
2

さらにムシ歯が大きいとき

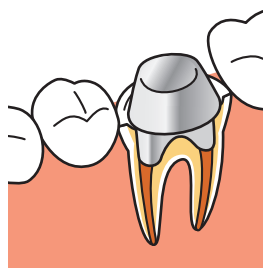
神経まで達した前歯や奥歯のムシ歯 (C3) には被せ物 (クラウン) を作ります

利点 頑丈

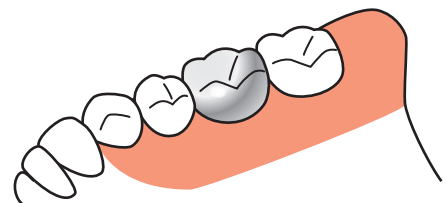
欠点 銀色



ムシ歯になっている部分を
削り、傷んだ神経を取り除き
歯の根の処置を行います



歯を削り、被せ物の
土台(コア)を作り
取り付けます



被せ物を接着剤でくっつけ
治療は完了です

case
3

大きくこの3種類でいずれも保険診療です
奥歯の大きいムシ歯の場合は金属製のもの (インレー・クラウン) が頑丈なのでいいです
白いものもありますが、奥歯の場合は保険が利かない場合が多いです